



千代田区キャンパスコンソ
Chiyoda Campus Consortium

共同公開リレー講座

ちよだで学ぶ2022

—モノ・コト・ヒト／現在・過去・未来—

講演テーマ

建築・デザイン学部開設記念（2023年4月開設予定）

『江戸の文字と絵

～グラフィックデザインの視点から読み解く浮世絵～』

オンデマンド（動画配信）

配信期間：2022年9月12日(月)～10月11日(火)

講演内容

「浮世絵」に対しては、風景画や人物画のイメージが強いかもしれませんが、浮世絵の中には当時の広告としての役割を果たしていたものも多くあることが知られています。商業活動が活発になった江戸時代、店の名前や商品名、宣伝コピーなどを盛り込んだ浮世絵が作られました。旅行や話題のお店、先端ファッション、イベントなど、情報伝達を目的に描かれたとされるものも多くあります。また、当時の人々は浮世絵を遊びの一つとして取り入れていたとも考えられています。謎解き「判じ絵」や絵の中に文字を構成した「文字絵」は、庶民の間で人気を集め大流行しました。この「文字絵」は、現代のグラフィックデザインや広告の表現に繋がるものがあります。浮世絵師は、動植物図鑑、お化けの本、お守り、キャラクター制作、包装紙、千代紙を手がけるなど、マルチなデザイナーの役割を担っていたのです。本講座では、浮世絵を当時の広告宣伝媒体として捉え、グラフィックデザインの視点によるアプローチでお話しします。江戸の人々の遊び心と暮らしを感じ、当時にタイムスリップした気分楽しんでいただければ幸いです。

講師：田中 裕子（たなか ゆうこ）
共立女子大学 家政学部 准教授



参加費：無料

対象者：千代田区在住・在勤・在学者
及びテーマに関心がある方

申込方法：右記QRコードより申込フォームに
必要事項を入力し送信してください

申込締切：9月5日（月）

※開講初日10:00～15:00の間に視聴に必要な情報をメールでお送り致します。

主催：共立女子大学・共立女子短期大学



千代田区キャンパスコンソとは

千代田区内の徒歩圏にキャンパスが近接する5大学（大妻女子大学・大妻女子短期大学部、共立女子大学・共立女子短期大学、東京家政学院大学、二松学舎大学、法政大学）が2018年4月に設立した「千代田区内近接大学の高等教育連携強化コンソーシアム」です。千代田区と地域産業界等とともに、近接地の立地等を生かした大学間連携と地域発展の推進を図ることを目的として、学生の単位互換や学生合同ボランティアなどの様々な連携事業を展開しています。

お問い合わせ

共立女子大学・共立女子短期大学
社会連携センター

renkei.gr@kyoritsu-wu.ac.jp